

オプトアウト

研究へのご協力のお願い(診療情報を用いた後方視的研究について)

当院では、以下の研究を実施しております。本研究は、過去に当院で治療を受けられた患者様の診療情報を匿名化し、統計的に解析する後方視的研究です。新たな検査や介入を行うことはなく、患者様に追加の負担がかかることはありません。しかし、ご自身の診療情報を本研究に使用されたくない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。その場合でも、患者様の診療や治療に不利益が生じることは一切ございません。

研究課題名

「当院における超音波内視鏡下穿刺吸引生検術の成績と長期予後」

研究期間:倫理審査委員会承認日(2025 年 3 月 12 日)から 2026 年 3 月まで

症例登録期間:2014 年 5 月から倫理審査委員会承認日(2025 年 3 月 12 日)まで

研究の目的

超音波内視鏡下穿刺吸引生検術(EUS-FNB)を受けられた患者様の診療情報を用いて、検査の成績を検討し、今後の医療の向上に役立てることを目的としています。

研究の方法

- 対象となるのは、上記期間に当院で超音波内視鏡下穿刺吸引生検術を受けた患者様です。
- 診療録(カルテ)、内視鏡レポート、病理検査結果などの情報を匿名化し、統計解析を行います。
- 本研究は観察研究であり、新たな検査や治療を行うことはありません。
- 研究成果は学会発表や論文として公表される可能性がありますが、個人が特定されることはありません。

患者様の個人情報について

本研究では、患者様のお名前や住所などの個人を特定できる情報は使用せず、匿名化されたデータのみを利用します。また、研究データは厳重に管理し、研究終了後は適切に廃棄いたします。

研究への不参加について

本研究へのご自身の診療情報の使用を希望されない場合は、下記の問い合わせ先までお申し出ください。その際、特別な手続きは必要なく、診療や治療に影響を与えることは一切ございません。

お問い合わせ先

京都第一赤十字病院 消化器内科
研究責任者：提中 克幸
電話番号：075-561-1121（病院代表）
受付時間：8 時 30 分～17 時（平日）

本研究に関するご理解とご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます